

令和4年度 進路指導専門委員会研修会

実施期日：令和4年11月15日（火）
会 場：埼玉会館 小ホール

主 催：埼玉県高等学校PTA連合会
後 援：埼玉県教育委員会

目 次

次第・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 ページ

発表校資料

(1) 埼玉県立八潮南高等学校 P T A・・・・・・・・・・ 3 ページ

(2) 埼玉県立和光高等学校 P T A・・・・・・・・・・ 7 ページ

(3) 埼玉県立上尾橘高等学校 P T A・・・・・・・・・・ 1 1 ページ

(4) 埼玉県立熊谷工業高等学校 P T A・・・・・・・・・・ 1 5 ページ

**令和4年度埼玉県高等学校PTA連合会
進路指導専門委員会研修会 次 第**

日時 令和4年11月15日(火)

場所 埼玉会館 小ホール

受付 12:30～13:00

【司会・進行】 埼玉県立川越女子高等学校PTA副会長 坂口 尊恵

1 開会のことば(13:00)

埼玉県立上尾橘高等学校後援会会長 山田 千景

2 講演会(13:05～14:20)

(1) 講師紹介 埼玉県立越谷北高等学校PTA会長 鈴木 啓子

(2) 講演

講師: キャリアガイダンス編集長

国立大学法人 東京学芸大学 客員准教授 赤土 豪一 様

演題: 【これからの社会で大切な、自分の問いをもつ力について】

(3) 質疑応答

(4) お礼のことば 埼玉県立越谷北高等学校PTA会長 鈴木 啓子

休憩(14:20～14:30)

3 開会行事(14:30～14:40)

(1) 委員長あいさつ 埼玉県立川越女子高等学校PTA会長 澤田 貢

(2) 指導講評者紹介 (司会)

(3) 発表者・校長の紹介 (司会)

4 研究協議(14:40～16:00)

(1) 実践発表(各校20分)

東部支部 埼玉県立八潮南高等学校PTA会長 鈴木 学

【八潮南高校の進路指導とPTA】

西部支部 埼玉県立和光高等学校PTA会長 布川 素子

【和光高校の進路指導とPTA】

南支部 埼玉県立上尾橘高等学校後援会会長 山田 千景

校長 秋谷 美保

【PTA・後援会の活動実践報告～保護者と学校の連携の要として】

北部支部 埼玉県立熊谷工業高等学校PTA会長 五十嵐由紀

【熊谷工業高校の進路指導に関わるPTA活動】

(2) 質疑応答

(3) 指導講評(16:05)

埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課

指導主事 中澤 良介 様

5 情報提供

埼玉県高等学校PTA連合会より

事務局長 島崎 育夫

6 閉会のことば(16:30)

埼玉県立妻沼高等学校PTA会長

小林喜代美



進路指導委員会 八潮南高校 P T A 活動



1 学校概要

本校は昭和59年に開校した、創立39年の普通科、商業科、情報処理科3学科、各学科とも2クラス1学年6クラスの高校です。卒業生は、8,000名を超え、地域社会大きく貢献しています。本校では校訓や目指す学校像のもと社会に貢献できる人材を育成しています。

校訓 「勉学 誠実 実行」

目指す学校像

人間力・学力・社会人基礎力を身に付け、専門的な学びを活かして仲間や地域と協働しながら地域社会に貢献できる人材を育成する学校

2 本校の特徴

本校は普通科、商業科、情報処理科の3学科設置の学校であり、それぞれの学科に特徴があります。

普通科 幅広い知識を習得できる人材を育成

より深く普通科目を学ぶことにより、専門学科併設の利点を生かし商業科目も学んで資格取得を目指しています。

1年	現代の国語	言語文化	地理総合	数学Ⅰ	数学A	地学基礎	体育	保健	芸術	英語コミュⅠ	理・表現	家庭総合	情報Ⅰ	総探	LHR
2年	論理国語	古典探究	歴史総合	公共	数学Ⅱ	化学基礎	生物基礎	体育	保健	芸術	英語コミュⅡ	家庭総合	総探	LHR	
3年	論理国語	古典探究	体育	英語コミュⅡ	ビジネス基礎	理科選択※1	数学選択※2	◆選択	■選択	◎選択	○選択	総探	LHR		

商業科 ビジネス社会に精通する人材を育成

ビジネス社会において必要となる基礎的な知識、技術を学び、高度な資格取得を目指すとともにビジネスの諸活動を円滑に行う能力と態度を身につけます。

1年	現代の国語	言語文化	地理総合	数学Ⅰ	科学と人間生活	体育	保健	芸術	英語コミュⅠ	ビジネス基礎	簿記	情報処理	LHR	
2年	論理国語	歴史総合	公共	数学A	化学基礎	体育	保健	英語コミュⅡ	家庭総合	ビジネス・コミュ	財務会計Ⅰ	原価計算	情報処理	LHR
3年	論理国語	体育	英語コミュⅡ	家庭総合	課題研究	総合実践	商業選択※1	◆選択	■選択	★選択	◇選択	総探	LHR	

情報処理科 情報化社会に適応できる人材の育成

情報に関する基礎知から専門知識まで学び、高度な資格取得を目指すとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを適切に運用する能力と態度を育成します。

1年	現代の国語	言語文化	地理総合	数学Ⅰ	科学と人間生活	体育	保健	芸術	英語コミュⅠ	ビジネス基礎	簿記	情報処理	LHR
2年	論理国語	歴史総合	公共	数学A	化学基礎	体育	保健	英語コミュⅡ	家庭総合	財務会計Ⅰ	ソフトウェア活用	プログラミング	LHR
3年	論理国語	体育	英語コミュⅡ	家庭総合	課題研究	総合実践	商業選択※1	◆選択	■選択	★選択	◇選択	総探	LHR

3 本校のPTA活動

(1) 目的と事業

- ・家庭と学校との連絡・連携に関すること
- ・会員相互の研修・親睦に関すること
- ・生徒の教育環境の整備に関すること
- ・地域社会との連携に関すること
- ・生徒及び会員の福利厚生に関すること
- ・その他本会の目的達成に必要な事業

(2) 組織

- ・会長、副会長、理事、監事、幹事で構成。
- ・委員会

総務委員会	1 青少年育成のための学校・地域との連携、啓発 2 学校行事（競歩大会等）の充実に向けての協力
企画運営委員会	1 研修旅行の企画運営 2 文化祭におけるPTAコーナー、文化講座の企画運営 3 会員の研修、親睦に関すること 4 会報「いちょう」の発行

(3) PTA事業

- 4月 PTA理事選出
- 5月 PTA・後援会総会 交通安全指導
- 6月 PTA役員会 交通安全指導
- 7月 PTA広報誌「いちょう」発行 交通安全指導
- 9月 交通安全指導
- 10月 PTA役員会 文化祭 交通安全指導
- 11月 ロードレース大会補助
- 12月 PTA広報誌「いちょう」発行 交通安全指導
- 1月 研修旅行 交通安全指導
- 2月 交通安全指導
- 3月 PTA広報誌「いちょう」発行 交通安全指導

昨年度は新型コロナウイルス感染防止のため、体育祭、文化祭は校内で非公開での実施のためPTAの方の入場もなくなりました。そのためPTAとしての行事はなくなりました。また、研修旅行も中止となりました。

※交通安全指導は8:15分より教員、生徒とともに正門付近で指導をするものです。

現在、新型コロナウイルス感染防止のため中止しています。

4 地域・大学との連携

(1) 八潮青年会議所との連携

商業科の課題研究の授業で地元産野菜を使った新メニューを開発しました。開発された新メニューは八潮市のイタリアンレストランで販売されました。

(2) 高大連携による埼玉東萌短大の出張授業

3年生の選択科目「子どもの発達と保育」において、埼玉東萌短期大学の出張授業が行われました。テーマは「絵本のちから」。今回取り上げた絵本はエリック・カール作「はらぺこあおむし」です。



5 本校の進路指導

(1) 進路実績

令和3年度卒業生

	大学	短大	専門学校	就職	公務員	その他	合計
男子	23	0	29	42	3	6	103
女子	6	4	60	42	1	4	117
合計	29	4	89	84	4	10	220

(2) 進路の取り組み

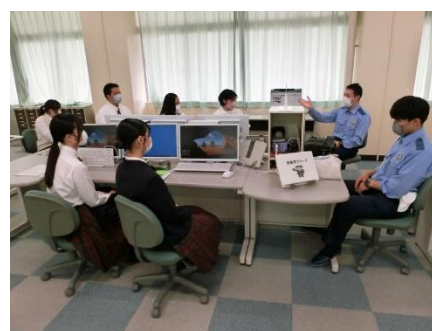
6月 卒業生による進路懇談会（2・3年生対象） 1年生分野別説明会

卒業生 30 名を招き先輩方から直接進路についての話を聞きました。自分に近い先輩方から話が聞け、数年後の自分を想像できたかもしれません。

並行して2・3年生の公務員志望者には、現職の警察・消防・自衛隊・市役所の方々（卒業生含む）が直接、試験対策や業務内容の相談に乗ってくださいました。



卒業生による懇談会（2・3年生対象）



分野別説明会（1年生対象）

分野別説明会では、大学・短大、専門学校、就職、と分かれ、講師の方からアドバイスや説明を受けました。各学校の特色や就職活動の対策など、もうすぐ本格的に動き出す進路活動の参考になったはずです。

7月 進路講演会（2年生対象）八潮青年会議所

「働くこととは？仕事とは？社会とは？」というテーマで2年生6クラスに分かれてお話をいただきました。参加された小倉様（不動産）、小尾様（電力事業）、八島様（照明）、五十嵐様（FP）、壽山様（板金）、斎藤様（絵画教室）の行っている方で、これまでの苦勞、経営状態など具体的に丁寧に語っていただきました。



7月 面接練習（3年生対象）

3年生を対象に外部講師、教員が面接練習を行います。7月から11月にかけて就職希望者、進学希望者に丁寧な面接指導を行います。

10月 進路説明会（2年生対象）

進路全般の講演、続いて進学希望者と就職希望者の2会場に分かれての講演でした。その後は希望分野ごとに少人数のグループに分かれ、より詳しい内容に移りました。

11月 職業体験授業（1年生対象）

1年生が職業体験授業を行いました。IT、ビジネス、保育、看護、美容、調理、スポーツ、公務員など、17分野の講師の先生方に来ていただきました。

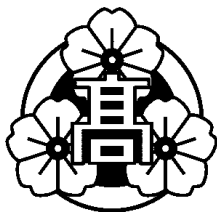
12月 進路体験発表（3年生が2年生に）

進路活動を終えた3年生が2年生に自身の体験を伝えました。3年1組の代表生徒が2年1組の教室で、3年2組の代表生徒が2年2組の…、というような形で行われました。進学（大学・専門学校）と就職（事務・販売・製造・公務員など）、それぞれバランスよく参加していました。



6 おわりに

本校では令和元年度より新型コロナ感染開始から、PTA活動は自粛が続いています。学校行事は中止や生徒だけの開催となり文化祭や体育祭も保護者が入場できない状況が現在も続いています。PTAとしても子供たちの進路について深く関わりたいと思っています。新型コロナ感染が落ち着いた兆しを見せる中、様々な進路行事にPTAとして参加し、また、面接練習などに積極的に関わっていきたいと思っています。



和光高校の進路指導とPTA活動

埼玉県立和光高等学校PTA会長 布川素子

1 学校概要

本校は、朝霞地区（朝霞・志木・新座・和光）の要望を受けて昭和47年に開校し、昨年創立50周年を迎えた全日制普通科の学校です。東京都とも隣接する地にありながら、荒川河川敷や多くの自然豊かな環境に恵まれた立地にあり、生徒は伸び伸びと高校生活を送っています。生徒の進路先は、進学と就職が約半数ずつで各方面で活躍している人材を多く輩出しています。

本校の特色は、1・2年生では少人数学級を展開し、学習面や生活面などを通して生徒一人ひとりに手厚い指導をしている点です。また、科目によっては習熟度別の授業実施により学びを深め、学校設定科目「ベーシック」による国・数・英の学び直しや基礎学力の定着にも重点を置いています。

（1）教育目標

知性と教養を高め、心身ともに健康で人間性豊かな若人の育成を目指す。

（2）目指す学校像

創造する力を伸ばし、協働する元気な集団を育てる学校

（3）今年度の重点目標

- 1 意欲を育て、ひとりひとりの力をしっかりと伸ばす学習指導
- 2 ルールと時間を守り、思いやる心と社会性を養う生活指導
- 3 自分自身を正しく理解させ、自尊・自信を築く進路指導
- 4 協力と汗を流すことを尊ぶ、活気ある学校行事と部活動の充実及び地域への貢献

（4）今年度の学年目標

<1 学年>

- ・挨拶・感謝・協力・努力ができる生徒
- ・自立かつ自律するために、自分に負けない生徒
- ・充実した生活を送るために行動し、最後まで諦めない生徒

<2 学年>

- ・基本的生活習慣の確立とコミュニケーション能力の向上。
- ・基礎学力及び学習習慣の定着と進路意識の向上。
- ・特別活動への自発的な参加を促進し、他社への感謝の気持ちを育む。

<3 学年>

- ・基本的生活習慣を確立し、規律ある態度を育成させる。
- ・学習意欲と進路意識の向上に努め、進路実現に向かわせる。
- ・特別活動への自発的な参加を促し、仲間と協力する楽しさを体験させる。



2 本校のPTA・後援会活動の取り組み

(1) 活動の目的

家庭と学校が協力して教育の進展を促進し、生徒の幸福な成長をはかる。
教育内容の充実発展に寄与する。

(2) 目的を達成するための活動方針

- ①会員の教育に関する教養の向上をはかる。
- ②保護者と教職員との協力関係を強め、生徒の学校生活における課題解決を促す。
- ③学校行事に積極的に協力していく。
- ④健やかな学校生活を送れるような環境整備を援助していく。

(3) 具体的な活動

①PTA総会・常任委員会および理事会

毎年5月にPTA総会を開催し、前年度の活動報告・決算報告ならびに今年度の活動予定・予算書を決定しています。また、年間5回のPTA・後援会常任理事会および理事会を開催しています。

②広報委員会

PTAだよりを年間4回（5・7・12・3月）発行し、PTA・後援会の活動状況、学校行事等の情報を発信しています。特に体育祭や文化祭、強歩大会等の学校行事の写真撮影や取材に関わり、編集作業を進めています。ここ数年は、さまざまな行事が縮小されたこともあり、保護者の方が学校に来る機会にも制限があったので、それぞれの行事の様子がより伝わりやすいように、1枚の写真を選ぶのにも時間をかけて作り上げてきました。PTAだよりに掲載しきれなかった多くの写真の中からさらに選び、和光祭で掲示した企画も好評でした。

③文教委員会

おもな活動は、和高祭でのPTA企画の参加と校内の環境美化を目的とした清掃活動です。今年の和高祭では、健康の維持と心のリフレッシュをしてもらおうと、座ったままできる「チェアヨガ」を企画しました。会場の教室に手作りの装飾をしたり、ポスターを描いたり、準備を進める中で楽しく親睦を深めることができました。また、多くの方々に来場していただき、保護者、先生方、生徒たちとも交流できたことは、普段ない貴重な機会だったと思います。



また、環境整備のひとつとして清掃活動を実施しました。生徒たちが気持ちよく学校生活を送れるように、普段の清掃活動ではできない除草活動を毎年続けています。積みあがった草の山を見ると達成感も感じましたが、一緒に汗を流しながら、日頃の思いや悩みなども話せたことも今後のPTA活動をしていく中での大きな力になりました。

④強歩大会

体育科主催で毎年行われている伝統行事で、荒川河川敷の道路およびサイクリングロードを走ります。PTAの関わりとしては、大会の様子の撮影とレース後に生徒たちへの飲料配布のサポートをしています。他の行事と違って、生徒たちと直接関わりながら行事の運営にも参加できるため、充実感ある活動のひとつです。



3 本校の進路指導

(1) 本校のおもな進路行事

① 1年生は、11月に「職業別体験出前授業」を校内で体験します。保育士や消防士など実際に仕事をしているプロの方から話を聞いたり、体験を通して職業理解を深めます。

② 2年生は、進学・就職に分かれた「分野別見学会」を実施します。それぞれ希望の学校や職場を訪問し、学びの環境や仕事現場を直接見て説明を受けることは、今後の進路を決定していくうえで貴重な経験となります。



③ 3年生は、7月に「進路特別指導週間」を設け、学校全体で集中的に指導にあたっています。履歴書指導や面接指導、志望理由書の書き方等、生徒ひとりひとりに応じた内容になっています。9月の「進路週間」では、特に就職試験直前指導に重点を置き、外部から就職支援アドバイザーを招き、面接指導を中心によりきめ細やかな指導がされています。



(2) P T Aと進路指導

ほとんどの学校の実態として、学校が体系的組織的に行っている進路指導の充実が、学校としての進路指導の主体であるかと思います。実際に和光高校も進路指導の先生方を中心に学校全体として、また各学年に応じて適切で熱心な進路指導がおこなわれています。

P T A活動を通して、先生方とより深くかかわるようになり、改めて感じることは、日々の学校における教育活動の大切さです。和光高校は、先生と生徒の距離が近く、生徒は何度も先生に相談できるし、先生方もそれに応えて親身にきめの細かい指導をしてくれています。保護者としては、学校での教育活動をきちんと理解し、子どもを見守りつつ、時には相談にのり、時には励まし、進路決定に際してはしっかりと話し合いをしていくことで、それぞれの希望進路の実現に成果をあげるものと実感しています。

特に進路に関しては大きな額の金銭的な問題や契約の問題も発生するので、親子の意思の疎通は絶対に必要です。しかしながら、思春期の子どもが常に事細かに学校のことを話すばかりではありません。親としては、わが子の進路活動が順調にいつているのか、課題があるとするそれは何処か？適切に把握できているのか等、不安になることもあります。そこで、P T Aの活動の場が極めて有効になってくると思います。

必ずしも進路に特化したP T A行事ではなくても、P T Aの行事等で学校の先生方、保護者同士が顔を合わせることで、子どものおかれた現状、親として現在不安に思っていること等を、ざっくばらんに話すことができます。同学年の保護者と話をして悩みを打ち明けあったり、先輩保護者から体験談等を聞かせていただいたりすることで、担任の先生とは違った角度からの生きた情報を得ることもできます。家庭での親の役割などについても改めて考える機会にもなります。

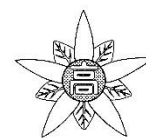
つまり、P T A活動を通した、保護者同士の交流、学校側との交流が、進路指導においても大きな意義を持つものです。また、この交流こそがP T A活動の醍醐味であると思います。そして、このような交流から、思いもかけないアイデアが生まれ、進路指導を促進する活動につながることもあります。

例えば本校では、子どもたちが一人の保護者の方からお話を聞くイベントが今年の11月に予定されています。今回お話しいただく方は、仮面ライダーのスーツアクター、つまり変身した仮面ライダーの中に入って仮面ライダーを演じるアクション俳優の方です。その方に、演武等を実際に見せていただいたうえで、自分の俳優としても人生を語ってもらう講演会です。この講演会で、職業に対する意識やプロとしても自覚等様々なことを学ぶことができます。さらに保護者も参加できる講演会なので、保護者同士の交流も促されると思います。

このように、P T Aの交流が新たな企画を生み出すこともあります。今後も、人生の先輩として、良きロールモデルとして保護者が登場し、進路指導に関わる機会をP T Aとしても検討していきたいとします。P T Aの活動の場が、保護者同士、保護者と学校との間で、良き情報交換の場として機能することが、進路指導の面でも有効に働き、様々なアイデアも生まれ、学校と協力して新たな行事を生むこともあります。つまり、進路指導の面においても最も重要なことは、P T A活動が促す交流にあると考えます。

現状の課題としては、生徒数の減少もあり、当然保護者の人数も減少している訳ですが、P T Aの役員決めをはじめ、積極的に活動に参加してもらえる保護者が少なくなっていることです。活動を理解していただき、できるだけ多くの方々にP T A活動に参加していただきたいと思っています。今後とも参加してみたいと思えるようなP T Aとなるように、参加してよかったと思えるP T Aとなるように、できることを無理のない範囲で楽しく活動していきたいと考えています。

P T A ・後援会の活動実践報告
～保護者と学校の連携の要として～



埼玉県立上尾橘高等学校 P T A会長 楫 裕美
後援会会長 山田 千景

1 上尾橘高校について

(1) 概要

上尾市平方地区に立地し、荒川の土手が近くにある大変環境豊かな場所にあります。本校は、昭和58年に開校し、今年度は創立40周年を迎えています。全校生徒358人の全日制普通科の学校です。

通学はさいたま市、上尾市からが多く、自転車通学者が約60%、電車とバス通学者が約40%です。(バスで上尾駅から約20分、指扇駅から約10分、川越駅から約30分)

平方地区は、昔「たちばなの里」と呼ばれておりました。

校章は、たちばなの花卉をデザインしたもので、学校キャラクターはたちばなの実を卒業生がデザインしました。



(2) 目指す学校像

「地域に根ざし、生徒一人ひとりを伸ばし、自立(律)して社会を支えられる人間を育てる」を掲げ、基礎基本の知識を持ち活用できる生徒(知識・技能)、時と場に応じた適切な行動や発言ができる生徒(思考力・判断力・表現力)、新しいことに興味を持ち、積極的に取り入れることができる生徒(主体的に学習に取り組む態度)を育成しています。

(3) 「わかる・できる・自信をつける」ための取組

基礎からの学び直しができるよう、きめ細かい授業を行っています。令和4年度は全学年4クラスを5展開の少人数クラス編成。数学と英語は習熟度別少人数展開、商業、情報、家庭科はチームティーチング、国語、家庭科では学習サポーターによる支援も取り入れています。



数学 少人数での学び合い



家庭 調理実習

スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーが毎月2回来校し、生徒と保護者が相談できます。

昨年度から、1年生では本校独自の科目「キャッチアップタイム」を実施しています。毎週火曜日に、3つのコースに分かれ、ソーシャルスキルの向上、国語と社会の基礎学力の定着、5教科の得意科目を自学自習で伸ばす学習を行います。ソーシャルスキルを毎週学ぶコースは県教委指定の高校通級指導のコースです。



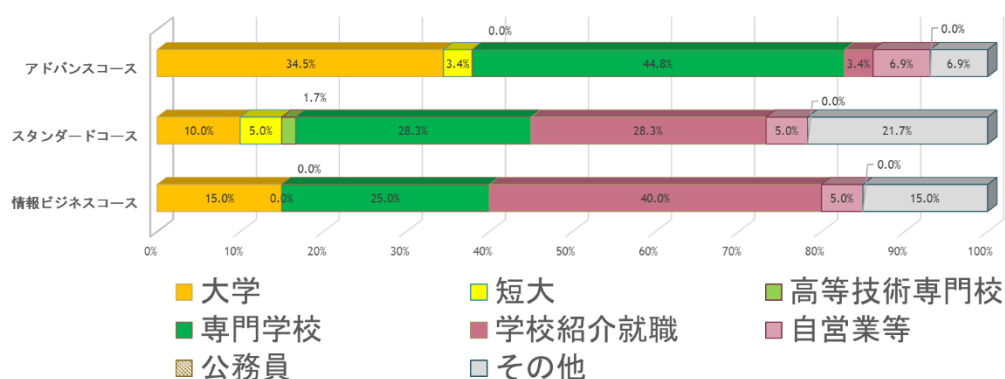
ソーシャルスキルトレーニング

本校の生徒の進路は多岐にわたり、夢を実現するために、2年生から、3つのコースに分かれます。大学、短大、専門学校を希望する生徒が、踏み込んだ内容を学習するアドバンス、専門学校と、就職を希望する生徒が、基礎学力を重視して学ぶスタンダード、専門学校や主に就職を希望する生徒が、簿記や情報処理などの資格取得を目指す情報ビジネスです。

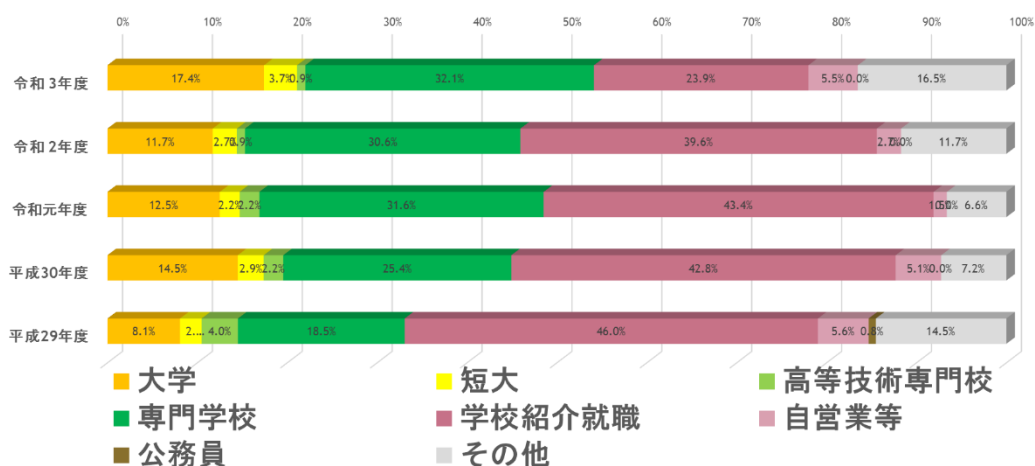
(4) 卒業生の進路状況

今年3月の卒業生の進路先は、大学17.4%、短期大学3.7%、専門学校33.0%、就職29.4%、就職・進学準備16.5%でした。学校を通しての就職内定率は100%を維持しています。近年、進学希望者が増えています。

令和3年度卒業生 コース別進路状況



過去5年間の進路状況



(5) 本校の進路指導の取組

1年生の時から、本校手作りの「進路の手引き」に沿って、計画的な進路学習を行っています。

2年生、更に3年生になると、より実践的に学習します。面接練習では、本校手



演劇を取り入れた進路講演会



ジョブサポートティーチャーによる面接練習

作りの「橘高魂」を使いながら進めます。自分のことや進路先を調べたことを記入してから、何度も練習します。ジョブサポートティーチャーや教員、外部講師と練習して、自信をつけて本番に臨みます。

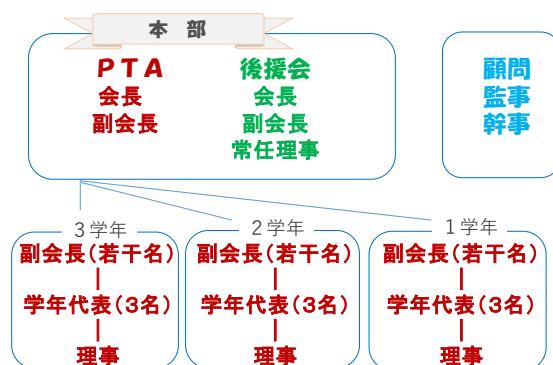
2 本校のPTA活動

(1) 組織

上尾橘高校のPTA活動は、保護者が仕事をしていたり、御家庭の都合で、理事を引き受けていただくことが難しい状況でも、何とかして参加していただくことに配慮しています。そこで、PTA活動の経験が少なくても理事の仕事に不安が内容に、後援会のメンバーがサポートしています。



理事会



PTA・後援会組織図

(2) PTA・後援会の進路指導への関わり

新型コロナウイルス感染症が流行する以前には、進路講演会を学校と協賛して行ったり、研修旅行で大学や専門学校等見学に行ったりしていました。しかし、近年は、コロナ禍になってしまったことや、保護者のPTA行事への参加の負担軽減から、「進路指導」という形式での関りは、できませんでした。

そこで、校内行事への参加で子どもたちに声をかけることで、挨拶や基本的な行動など、社会人として身に付けておくべきマナーを指導すること

にしました。例えば、交通安全指導の後では、本来の目的である、安全に通学しているか、危険な個所はないかについて共有し、声を出して挨拶するか、会釈をするか、イヤホンをつけてさっさと行ってしまうか、などを報告します。



理事による通学路で危険な場所の確認・声掛け

文化祭やロードレースでも、子どもたちに積極的に声を掛け、また、保護者同士の意見交換もできました。

(3) 保護者の進路決定までの関わり

「進路の手引き」と求人票の電子化により、スマートホンで見られるようになったので、子どもと保護者が一緒に見られるようになりました。三者面談の際に、外部の方による、進路決定までの必要経費について質問できる個別相談コーナーを設けていただきました。



(4) 保護者から子供へのアドバイスなど

介護職希望と専門学校進学希望の3年生の保護者からの回答を紹介します。

Q1 子どもの進路について、家庭でどのような話をしますか。

A介 夏休みの会社見学前にアドバイスをしています。入社してから資格が取らせてもらえるとか、取得の際に費用面でサポートがあるのかと、子どもが見学で確認することについて、具体的にアドバイスをしました。

A専 子どもに自分で進路について動いてほしかったのですが、積極的に自分で進められる子ではなかったので、本人が一步一步進めるよう、まずやりたいことを見つける支援しました。私が学校のパンフレットを取り寄せ、子どもと年の近い兄の友達がアドバイスしてくれました。



Q2 進路を決める際に、重視することは何ですか。

A介 本人が、何をやりたいのか、その仕事を本当にできるのかどうかを、子どもと確認しています。

A専 やりたいことが、将来の仕事につながればいいと伝えました。

Q3 学校への要望は何ですか。

A介 先生方には、本人が前向きに考え取り組めるよう、支援してほしい。

A専 進路説明会や講演会は、子どもが一步踏み出せるので、継続して実施してほしい。

(5) 学校生活アンケート 進路に関する項目について

数字は、保護者と子供（カッコ内）の「そう思う」と「やや、そう思う」の肯定的な回答の割合です。

Q1 自分の子どもは、挨拶を進んでしている 79%（81%）

Q2 自分の子どもは、進路についてしっかり考え、その実現に向け努力している 64%（80%）親が考えているより、子どもはしっかり考えているようです。

Q3 学び直しの授業は、役に立っている 93%（91%）

Q4 進路指導は、子どもの進路意識を高めている 83%（89%）

Q5 進路決定状況は、子どもの希望や保護者の期待に込めている 87%（89%）



(6) 終わりに

親として、わが子に真剣に向かい合うことが、子どもの希望に沿った進路の決定までつながって行くのだなあということです。PTA・後援会理事が、保護者と学校を結べるよう、保護者の中心となって活動していきたいと思います。皆様に学校の行事にはできる限り参加していただくよう呼びかけ、保護者同士で情報を共有していくとともに、先生方と手を取り合って、子どもたちへの支援を続けていく要として活動していきたいと思います。



1 学校概要



本校は、昭和41年に埼玉県立熊谷商工高等学校から分離独立し、57年目となります。その間、「文武両道」をモットーとして、「ものづくりを通じた人づくり」「人の成長なくして技術の進歩はあり得ない」という教育理念のもと、生徒の夢の実現と豊かな心の育成を図り、着実に成果を重ね、今日の「ものづくり創造立国日本」の礎となる有為な人財として、一万七千余名の卒業生を輩出しています。

本校は、「育んだ心、深めた知識、学んだ技術を総合し、社会貢献できるスペシャリストの育成」を目指し、共通教科・科目では高校生として必要な基盤となる学力の定着を図り、建築科、土木科、電気科、機械科、情報技術科5科では特色を生かした授業や充実した施設・設備での実習などを通して、工業技術者に必要な知識・技術を身に付けることができますようになっています。

また、放課後や長期休業中などは、産業界の外部講師による指導の機会もあり、職業に就いたときに活かされる資格取得や専門分野の競技大会などへの参加にも力を入れております。

進路指導では、各学年での進路指導計画や産業界と連携した体験活動なども通して、学習意欲を喚起し、職業観・勤労観を身に付けることができますようになっています。就職については、5科の専門分野を生かした進路先へ、就職を希望する生徒の就職内定率100%を達成しております。進学については、3学年では大学への進学を希望する生徒の4大進学コースを設置し、進学実績も着実に伸ばしております。

1) 教育課程

本校は、専門高校であり、国語や数学などの共通教科・科目と実習などの各科の工業に関する科目を学習します。

共通教科・科目と工業に関する科目の割合は、選択科目の選択の方法によっても異なりますが、概ね6：4の割合です。また、本校の教育課程は次のような特色があり、生徒の多様な進路希望に対応しています。

本校教育課程の特色

- ・1年生では、学校設定科目として全員の生徒が2月に4日間のインターンシップ（企業での就労体験）を行っています。1単位を認定しています。
- ・2年生では、数学と英語で進路別教科内選択があります。
- ・3年生では、卒業後の進路希望において、進学と就職の希望者に分かれて授業を受けます。専門技術コースまたは4大進学コースを選択して学びます。

3 年次コース選択

4大進学コース 定員40名程度	工業系大学（4年制・短大）へ進学を希望する生徒のためのコースです。 各科から希望者を集めてクラス編成を行います。
専門技術コース	就職や専門学校希望者のためのコースです。 このコースでは、2つの群から、それぞれ1科目を選択する選択科目があります。

カリキュラム (令和5年度入学生)

単位数		5	10	15	20	25	30	31	
1年生		共通教科・科目 2 1 単位					工業に関する科目8単位	H R	インターン シップ
2年生		共通教科・科目 1 7 単位			工業に関する科目 1 2 単位			H R	
3年生	4大進学コース	共通教科・科目 2 2 単位					工業に関する科目 7 単位	H R	
	専門技術コース	共通教科・科目 1 1 単位		選択科目 6 単位		工業に関する科目 1 2 単位			H R
				A 群	B 群				

2) 学科について

(1) 建築科

住宅・学校・商店・事務所・工場など、多くの建築物のデザイン、設計、施工等について学ぶ学科です。人々が安全で快適に生活できる「住」について必要な形を考え、建物を造る学習を行います。また、実践的な実習を行い、建築士、技能士、現場監督を目指しています。

(2) 土木科

人々が快適で心豊かな生活を送るための環境づくりを使命として学習する学科です。道路、橋、コンクリート、測量などの知識を修得し、実験・実習を通じて、土木技術者として活躍できる専門教育を行っています。

(3) 電気科

あらゆる分野で利用されている電気や電子について学習する学科です。電気工事、通信技術、プログラミング、マイコンによる制御、自動工作機械などの幅広い知識や技術を習得します。卒業後、電力・通信・機器製造・コンピュータ・鉄道・音響関係等、多様な職業への道が開かれています。

(4) 機械科

機械部品の設計、金属の特性、エンジン、製図の描き方などを学習する学科です。更に、工作機械を使用した製件実習、金属・熱機関・電子機械などの実習、コンピュータやロボットの取扱いを通じて、機械を中心とした幅広い知識を身に付けます。多方面の分野で活躍できる技術者の育成を目指しています。

(5) 情報技術科

コンピュータ技術について幅広く学習する学科です。また、コンピュータを動作させるためのプログラミングを基本から学習する学科です。21世紀を支えるエンジニアの育成を目指しています。

4) 部活動

本校では、25の部・同好会があり、全員加入制です。運動系では全国選抜大会出場のラグビー部、関東大会出場のソフトボール部をはじめ、陸上競技部、ソフトテニス部等、どの部活動も頑張っています。登山部の生徒が第8回ボルダリングユース日本選手権倉吉大会（女子ジュニア）で優勝し、令和4年8月に米国テキサス州ダラスで開催された世界ユース選手権に出場しました。水泳同好会は学校総合体育大会埼玉県大会で上位入賞 関東大会出場（背泳ぎ 100m・200m、自由形 100m、バタフライ 100m）し、バタフライ 100m で全国学校総合体育大会に出場しました。文化系では建築研究部、機械研究部、情報技術研究部が全国大会に出場。吹奏楽部、写真部、美術部なども活動が活発です。



5) 生徒進路状況

(名)

年度	求人受理数	就職	公務員	大学・短期大学	大学校・専門学校
28	2277	130	5	35	51
29	2825	153	1	35	51
30	3505	170	2	40	18
1	3717	156	5	24	40
2	3076	149	8	35	24
3	3444	139	7	47	27
割合 (%)		63.2	3.2	21.4	12.4

2 PTA活動・企業大学見学会

1) 趣旨

- (ア) 例年、多数の生徒を受け入れていただいている企業・大学等を訪問し、生徒の家族の理解を深め、生徒の進路選択の一助とする。
- (イ) 大学見学をとおして、進路選択を間近に控える生徒の家族の意識を啓発する。
- (ウ) 保護者間の交流を深めるとともに、進路に向けての情報交換を図る。

2) 年代別見学場所

- 平成21年 ものづくり大学（行田）、日立金属熊谷工場（熊谷）
- 平成22年 埼玉工業大学（深谷）、キャノン電子株式会社美里事業所（美里町）
- 平成23年 日本工業大学（午前・午後）
- 平成24年 株式会社ロッテ狭山工場（狭山）、東洋大学川越キャンパス（川越）
- 平成25年 東京電機大学（鳩山）、ボッシュ（東松山）
- 平成26年 日本工業大学（宮代）、富士重工（太田）
- 平成27年 東京電機大学（鳩山）、HONDA（寄居）
- 平成28年 埼玉工業大学（深谷）、大塚製薬（高崎）
- 平成29年 日本工業大学（宮代）、積水ハウス（古河）
- 平成30年 ものづくり大学（行田）、スバルビジターセンター（太田）、富士電機機器制御（株）（鴻巣）
- 令和1年 明治なるほどファクトリー坂戸、立正大学（熊谷）、カルソニックカンセイ（株）（吉見町）
- 令和2年 新型コロナ感染のため中止
- 令和3年 日本工業大学（宮代）、グリコピア・イースト（北本）予定 新型コロナ感染のため中止
- 令和4年 日本工業大学（宮代）、アイリスオーヤマ埼玉工場（深谷）

3) 令和4年度の日程

(ア) 期 日 令和4年6月24日（金）

(イ) 日 程

8:00 熊谷工業高校集合

8:10 出発（バスにて）

9:00～10:30 アイリスオーヤマ 埼玉工場 見学（深谷市）

12:00～12:40 昼食（日本工業大学内食堂）

12:40～14:10 日本工業大学 見学（宮代町）

14:20～ 出発

16:00 到着（解散）

(ウ) 参加者 1年7名 2年5名 3年4名 教員5名 合計21名

4) 見学者アンケート

(ア) 「アイリスオーヤマ 埼玉工場」について

a 概要説明について

- ・聞き取りやすく、分かりやすい説明でとても良かったです。
- ・ショールームで実際の商品を見られた事で、先が楽しみな成長を感じられる会社であると思いました。
- ・「変化対応業」とのごとく、幅広く多様な商品があり、驚きました。

b 工場について

- ・ロボットの動きが複雑なのにスムーズで驚きました。
- ・初めての工場見学ということもあり、とてもワクワクしました。普段、何気なく注文している者がどの様に運ばれているのか少し分かってよかったです。
- ・すごく大きな建物の会社なのに、働いている人が少なすぎてびっくりしました。

(イ) 「日本工業大学」について

a 昼食について

- ・大満足でした。味、ボリューム共に良かったです。
- ・価格も学生に無理のない設定で種類も多くて良かったです。
- ・海鮮丼をいただきましたがご飯も沢山で鮮度もよくとても美味しかったです。

b 概要説明について

- ・本校の卒業生の学生の方の話し方もしっかりしていて、とても分かりやすかったです。大学の良さがわかりました。
- ・まずは実践+勉強をテーマにしているところが印象に残りました。

c 施設設備について

- ・短い時間ではありましたがとてもためになる所を見学させて頂けて良かった。
- ・とてもきれいでした。施設がとても充実していました。
- ・全体的にとっても綺麗な施設で、広大な広さに驚いた。とても高印象な大学だと思いました。

ウその他の意見、感想等

- ・企業見学等、個人ではなかなか、行く事がない（できない）ので、年に数回でもこのような事はやってほしいです。
- ・コロナ禍の関係で2年間、中止となっていたので、1・2年生で見学会に行けたらと思うと少し残念です。
- ・進路選びの参考になりました。子供にも話をして、今後の進路を考えたいと思いました。

5) 傾向

令和元年度から年次進行でPTAの組織を支部単位からクラス単位に変更するとともに、進路指導委員会を廃止としました。

平成時代は定員の40名を超える希望者がいましたが、令和2年度で18名、4年度で21名と激減した。進路指導委員会が廃止の影響である。

3 PTAと進路指導の今後

本校のPTAでは、以下のように企業大学見学会を中心として、進路に関する事業を行っております、生徒が学校での学びを最大限に生かせるように、学校と連携し、現在の教育環境と社会情勢の中で何が一番大事な事かを考えながら、これからも「親子で進路の選択決定をする」をモットーに、PTAとしても進路指導に関する活動をしていきます。また、進路決定率 8年連続100%達成の熊谷工業高校をバックアップしていきます。